

単位数	4	学科・学年・学級	理数科3年(G組)
教科書	啓林館 化学 改訂版	副教材等	第一学習社 スクエア最新図説化学

1 学習の到達目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	第2部 物質の変化と平衡 第4章 化学平衡	①平衡移動 ②電離平衡	水溶液中で電離する物質について、電離定数の扱い方、平衡移動の考え方について学ぶ。	行動観察 小テスト ワークシート分析
	5	第3部 無機物質 第1章 周期表と元素の分類	①周期表と元素の分類	周期表と元素の性質との関係について学ぶ。	
		第2章 非金属元素	①水素と貴ガス ②ハロゲン ③酸素・硫黄 ④窒素・リン ⑤炭素・ケイ素	非金属元素の単体や化合物について、その性質や用途を学ぶ。	実験レポート分析
			第1回定期考査		定期考査
	6	第3章 典型金属元素	①アルカリ金属 ②2族元素 ③アルミニウム ④亜鉛・水銀 ⑤スズ・鉛	典型金属元素の単体や化合物について、その性質や用途を学ぶ。	行動観察 小テスト ワークシート分析
		第4章 遷移元素	①遷移元素 ②金属イオンの分離と確認	金属元素の多くが属する遷移元素の単体や化合物について、その性質や用途を学ぶ。	実験レポート分析
	7	第5章 生活と無機物質	①生活と金属 ②生活とセラミックス	無機物質の特徴と、無機物質が私たちの生活にどのように利用されているかを学ぶ。	
				第2回定期考査	定期考査
	9	第4部 有機化合物 第1章 有機化合物の特徴と分類	①有機化合物の特徴と分類 ②有機化合物の分析	有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を学ぶ。	行動観察 小テスト ワークシート分析
		第2章 脂肪族炭化水素	①飽和炭化水素 ②不飽和炭化水素	有機化合物の基本的な化合物である炭化水素のうち、鎖式炭化水素と脂環式炭化水素の構造と性質を学ぶ。	
		第3章 酸素を含む脂肪族化合物	①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸 ④エステルと油脂	酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、油脂などについて、構造や性質を学ぶ。	実験レポート分析
後期	10	第4章 芳香族化合物	①芳香族炭化水素 ②酸素を含む芳香族化合物 ③窒素を含む芳香族化合物	芳香族炭化水素を始め、芳香族化合物の性質を学ぶ。	
				第3回定期考査	定期考査
	11	第5部 高分子化合物 天然高分子化合物	①高分子化合物の分類と特徴 ②糖類 ③タンパク質 ④核酸	生活や生命に関わる高分子化合物の基礎を学び、天然高分子化合物とそれを構成している化合物の構造や性質について、化学的な面から学ぶ。	行動観察 小テスト 実験レポート分析
第2章 合成高分子化合物		①高分子化合物の合成 ②合成繊維 ③プラスチック ④ゴム	石油から人工的につくられた合成繊維やプラスチックの製法や構造、性質、用途などを学ぶ。	実験レポート分析	

	第3章 生活と高分子化合物	①繊維 ②高分子化合物の利用	生活を豊かにした高分子化合物の構造や性質などについて学ぶ。	
12		第4回定期考査		定期考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能・表現	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>●下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。</p> <p>(1) 授業への取り組み 授業に対する姿勢、学習態度、物理への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に関心・意欲・態度の項目を評価する。</p> <p>(2) ノートの記載内容 授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができているかなどを評価する。</p> <p>(3) 観察・実験等 観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。評価の観点のうち、思考・判断、観察・実験の技能・表現に関する配分が大きい。</p> <p>(4) 教科書・問題集の問題 各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。</p> <p>(5) 中間・定期考査 学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、思考・判断、知識・理解に関する配分がもっとも大きい。</p> <p>●学習のアドバイス 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。</p>
--